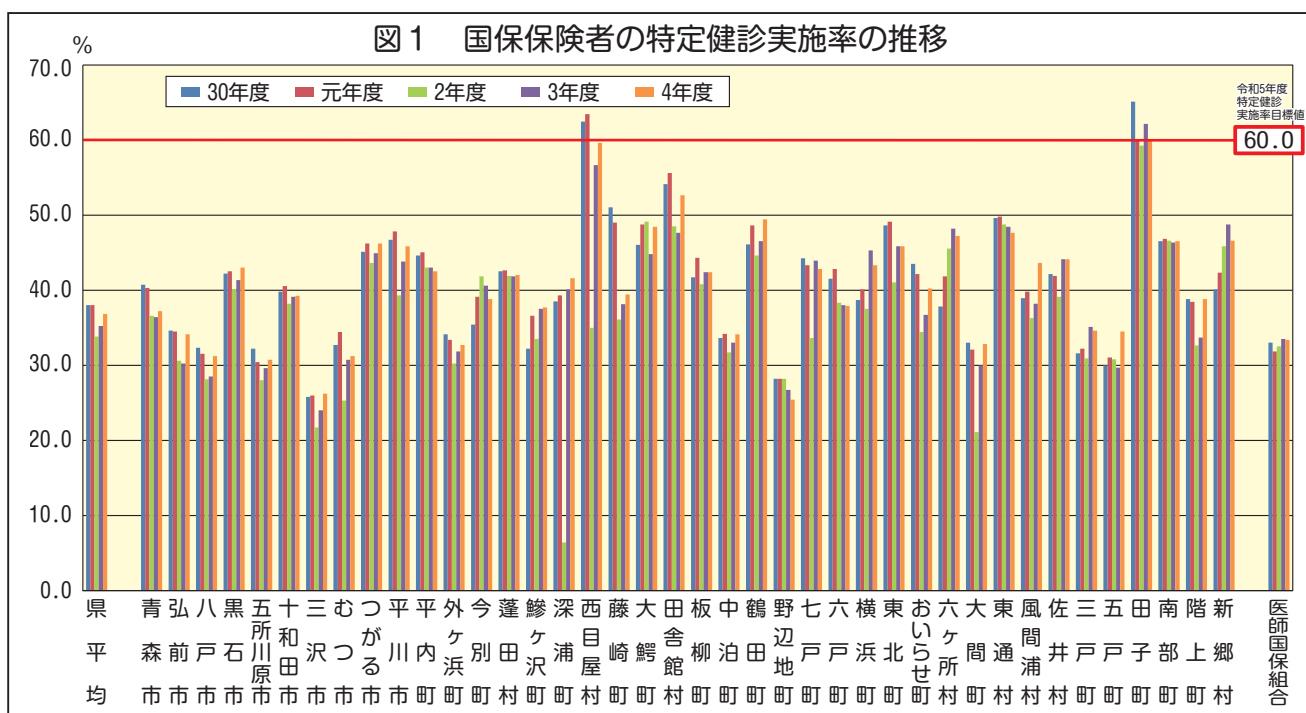


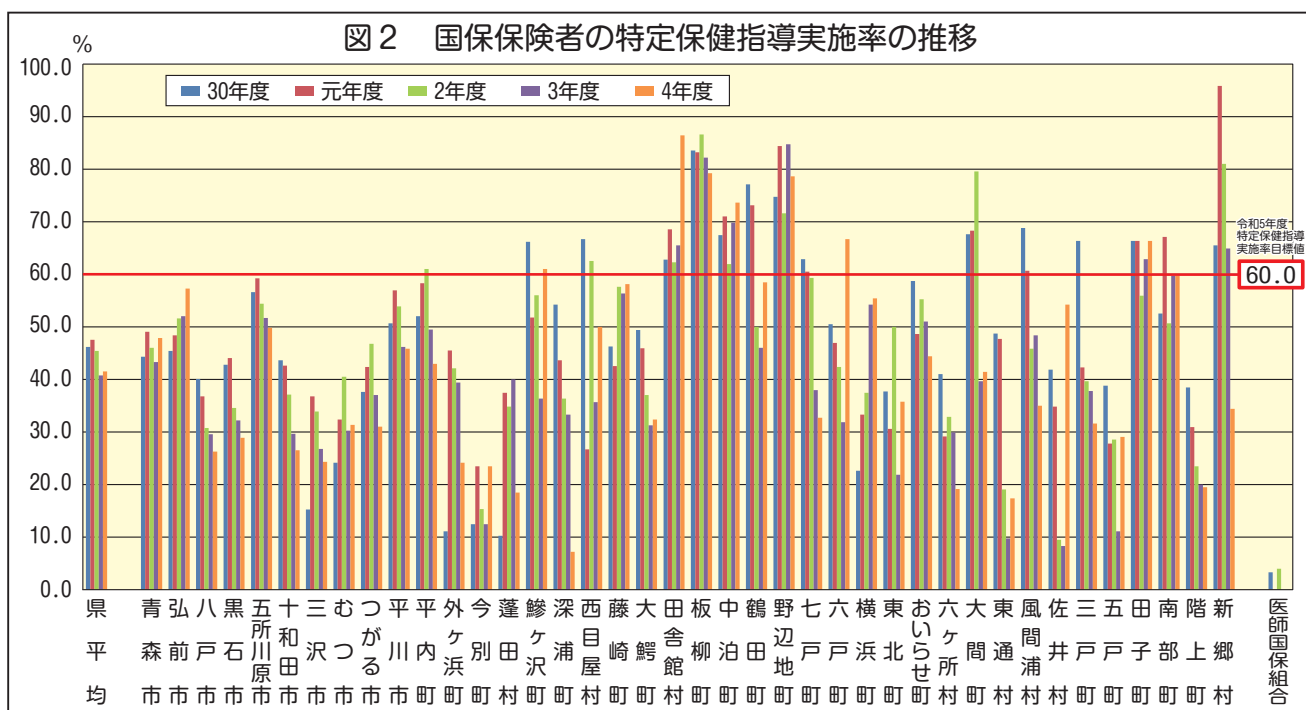
表1 特定健診・特定保健指導実施率の推移

市町村国保	特定健診実施率					特定保健指導実施率				
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
青森県平均	38.0%	38.0%	33.8%	35.2%	36.8% (速報値)	46.2%	47.5%	45.6%	40.8%	41.5% (速報値)
全国平均	37.9%	38.0%	33.7%	36.4%	-	28.8%	29.3%	27.9%	27.9%	-
全国との差	0.1%	0.0%	0.1%	△ 1.2%	-	17.4%	18.2%	17.7%	12.9%	-

※1 平成30～令和3年度 厚生労働省まとめ
 ※2 令和4年度は特定健診等データ管理システムによる。
 ※3 全国平均、青森県平均の数値は国保組合を除く。



※ 各年度の実施率は、それぞれ翌年度の9月末までに特定健診等データ管理システムに登録されたデータによる。



※ 各年度の実施率は、それぞれ翌年度の9月末までに特定健診等データ管理システムに登録されたデータによる。

データベースコーナー

速報！令和4年度特定健診・特定保健指導の実施状況

今回は、保険者が厚生労働省に毎年度報告することとされている特定健康診査等の実施状況に関する結果報告業務（令和4年度実施分・令和5年度報告分）が終了し、その速報値を取りまとめましたので概要をお知らせします。

本県における令和2年度実施分の特定健診実施率は、新型コロナウイルス感染症の影響等により制度開始以降初めて低下しましたが、令和3年度実施分からは再び上昇に転じ、令和4年度実施分は前年度比1.6ポイント増の36.8%となりました。（表1参照）

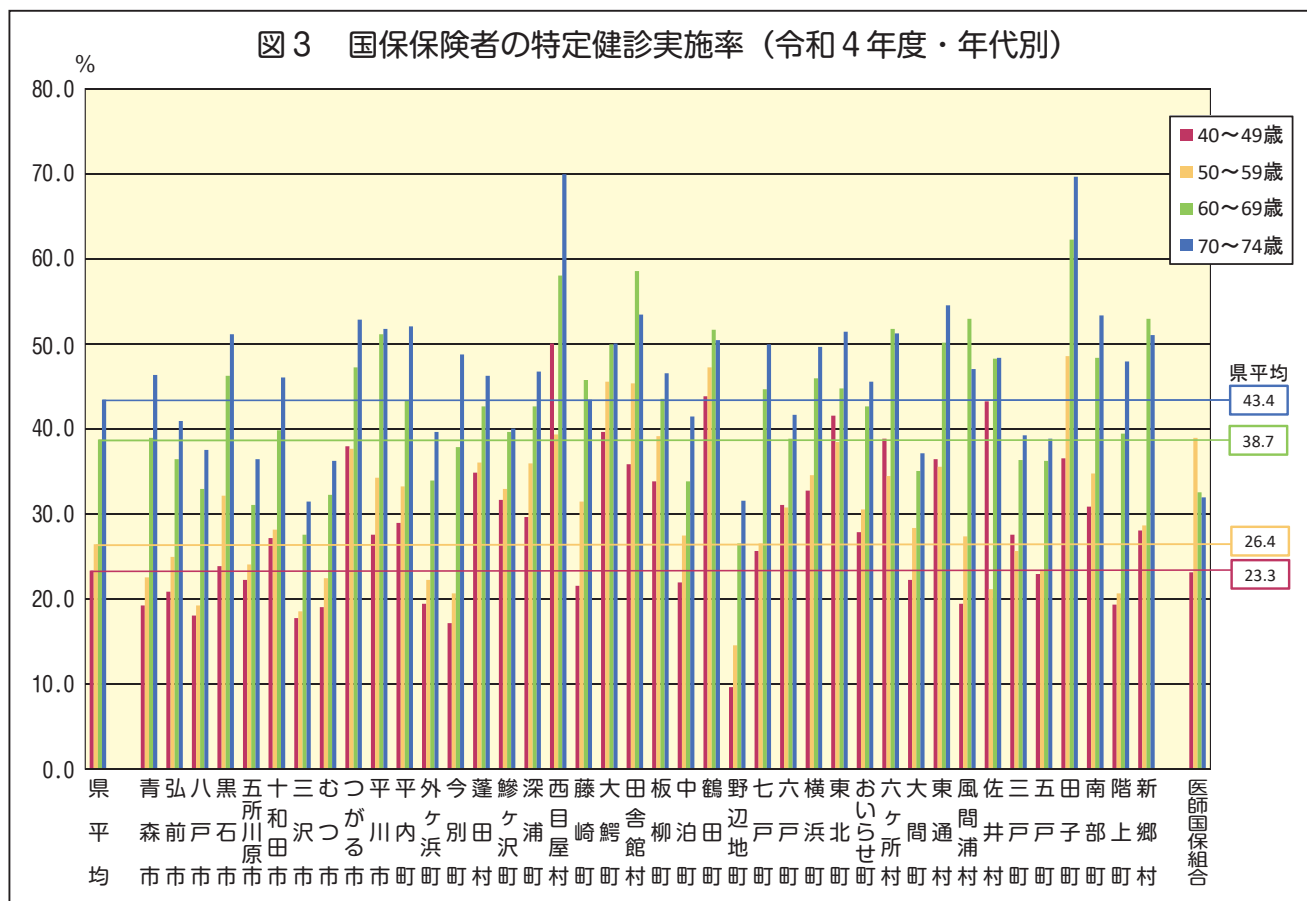
市町村別では26市町村で前年度より上昇しましたが、新型コロナ流行前の令和元年度を上回ったのは16市町村となりました。（図1参照）

特定保健指導実施率は、前年度比0.7ポイント増の41.5%（表1参照）で3年ぶりに上昇しましたが、令和元年度と比較すると6ポイントの差があることから、疾病の重症化予防等のためにも実施率の改善が急務と言えます。

因みに、市町村別で見ると、前年度より上昇したのは半数の20市町村にとどまっています。（図2参照）

特定健診の年代別実施率は、全国的に見ても40～50歳代の働き盛り世代が低い傾向にあります。本県においても40歳代が23.3%、50歳代が26.4%（図3参照）と低い状況にあるため、保険者においては未受診理由に応じたアプローチを行うなど、働き盛り世代のヘルスリテラシーの向上に向けた取組をお願いします。

図3 国保保険者の特定健診実施率（令和4年度・年代別）



※ 令和4年9月末までに特定健診等データ管理システムに登録されたデータによる。